



けんこう家族

東京逡信病院 泌尿器科特集

Doctor's interview



Yujiro sato

泌尿器科 部長 佐藤 雄二郎

- 脳神経外科 新任のご挨拶
- 新任医師のご紹介
- 特別個室リニューアル
- ナースステーション
「緩和ケア病棟のご紹介」
- 人間ドックのおすすめ
- 大腸内視鏡のすすめ

低侵襲性・QOL（生活の質）を重視した治療を目指して

先輩医師達から代々引き継がれてきた、



〒102-8798

東京都千代田区富士見2-14-23

TEL 03 (5214) 7111(代)

<https://www.hospital.japanpost.jp/tokyo/>

東京通信病院 泌尿器科特集

Doctor's interview

泌尿器科 部長
佐藤 雄二郎
Sato yujiro

01

着任の挨拶、東京通信病院の泌尿器科の特徴

2026年4月より泌尿器科部長に赴任いたしました、佐藤雄二郎（さとうゆうじろう）と申します。私はこれまで東京大学医学部附属病院、東京都健康長寿医療センター、東京都立多摩総合医療センター、日本赤十字社医療センター、武蔵野赤十字病院、同愛記念病院にて臨床経験を積んでまいりました。通信病院赴任前は国立国際医療センター泌尿器科医長として腹腔鏡手術・ロボット支援手術といった低侵襲手術に取り組んできました。

当院では本年1月より Da Vinci Xi® が導入され、外科がロボット手術を開始しました。泌尿器科でも5月から前立腺がんに対するロボット手術を開始しております。前立腺は骨盤の奥深くにあり、従来の開腹手術では視野が悪く難易度が高かったのですが、3D 拡大視野と細かいアームにより、繊細な手術が可能となりました。

泌尿器科は、腫瘍（腎臓、前立腺、膀胱）・尿路感染症・尿路結石（腎臓、尿管、膀胱）・排尿障害（前立腺肥大症）など、幅広い領域を扱う専門性の高い科です。通信病院の泌尿器科は1938年（昭和13年）の病院開設当初から診療を開始しており、先輩医師達から代々引き継がれてきた、低侵襲性・QOL（生活の質）を重視した治療を目指しています。

02

医師を目指されたきっかけと、泌尿器科を専門とされた理由をお聞かせください。



高校時代に進路を決める際、他人が笑顔になれる、人の役に立てるような仕事をしたいと思うようになりました。人間にとって健康は何よりも重要なことであり、病気を根本から治すことで笑顔につなげられるのではないかと考えるようになりました。そのためには医師の知識と権限が必要と考え、医師を目指すようになりました。

泌尿器科は大きな外科手術と薬物治療の両方を行い、そして診断から治療・その後のフォローまで、一人の患者さんを最初から最後まで責任を持ってみつづけることができます。他の科にない魅了を感じて泌尿器科を専攻しました。

03

医師になり最も注力してきたことについてお聞かせください。
また、今後の展望についてのお考えをお聞かせください。



泌尿器科医として、ロボット支援手術および腹腔鏡手術の習熟に力を注いでまいりました。

低侵襲手術は、出血量の軽減や術後疼痛の緩和、入院期間の短縮など、患者さんの身体的負担を大きく減らすことができます。一人でも多くの患者さんにその恩恵を届けたいという思いから、日々技術の研鑽を積み重ねてきました。

また、泌尿器科疾患は患者さんにとってデリケートな問題を伴うことも多く、丁寧な説明と対話を通じて、患者さんが不安なく治療に臨めるよう、コミュニケーションを大切に

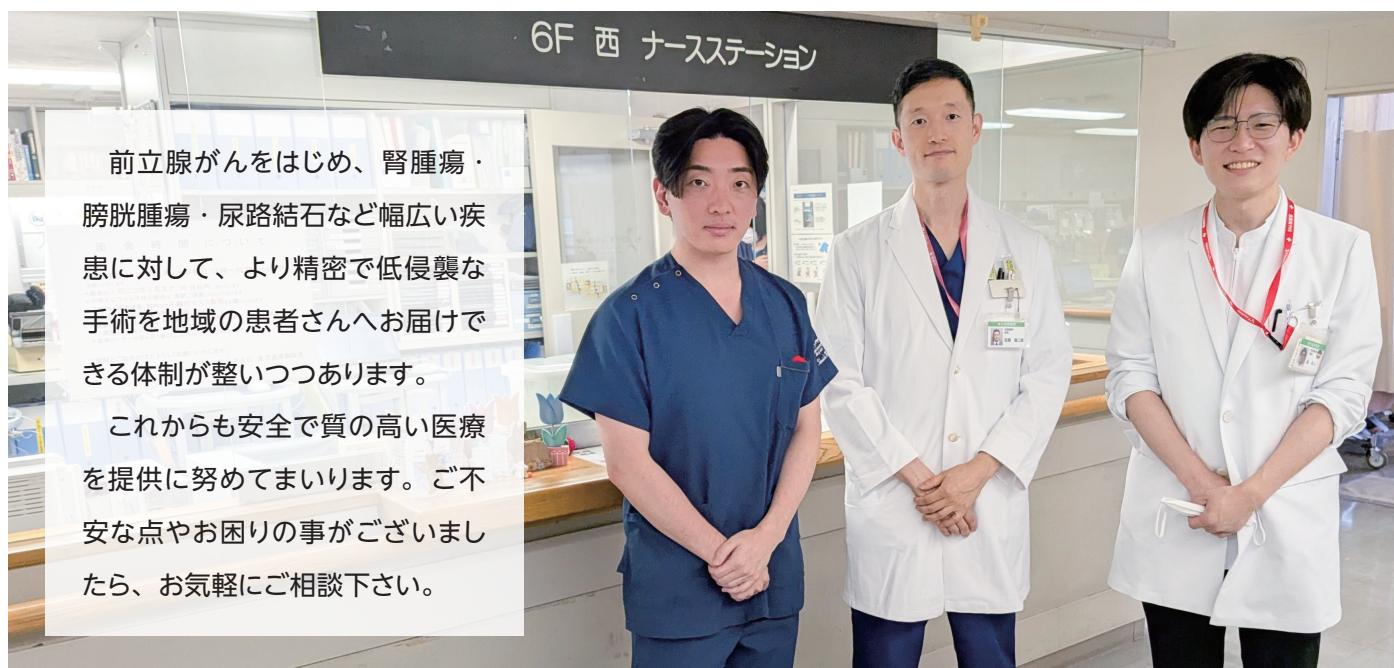
してきました。こうした診療は、泌尿器科チーム全体で連携し、看護師や他職種とともに患者さんを支える体制のもとで実践してきたものであり、チーム医療の大切さを改めて実感しております。

手術療法にとどまらず、薬物療法や保存的治療も含めた泌尿器科治療全般において、患者さん一人ひとりの状態や希望に寄り添った適切な医療を提供できるよう、チーム一丸となって取り組んでまいります。

また、若手医師の育成にも力を入れ、科全体の診療レベルの向上に貢献していきたいと考えております。

04

最後に、けんこう家族をご覧の方へメッセージをお願いします。



前立腺がんをはじめ、腎腫瘍・膀胱腫瘍・尿路結石など幅広い疾患に対して、より精密で低侵襲な手術を地域の患者さんへお届けできる体制が整いつつあります。

これからも安全で質の高い医療を提供に努めてまいります。ご不安な点やお困りの事がございましたら、お気軽にご相談下さい。

東京通信病院 泌尿器科 左から宮田 貴道医師、佐藤 雄二郎医師、藤 隼人医師

新任のごあいさつ

脳神経外科：脳卒中外科・もやもや病の診療開始のお知らせ 脳血管障害に対して安全安心な医療を提供します

2026年4月より脳神経外科に赴任しました、野村俊介と申します。これまで東京女子医科大学病院と医局関連病院、東京女子医科大学八千代医療センターで研鑽を積み、一般脳外科疾患に加えて、サブスペシャリティとして脳血管障害、特に脳動脈瘤、頸動脈狭窄症、動脈硬化性主幹動脈閉塞症、もやもや病などを中心に診療してまいりました。今年度より脳卒中外科疾患およびもやもや病の診療体制を整備し、これらの疾患に対する外科治療を開始しております。

未破裂脳動脈瘤は破裂すると、くも膜下出血をきたし、30%前後の方が亡くなる疾患であり、適切な画像評価とリスク評価、そして治療介入の検討が重要です。近年、開頭術と血管内治療の選択肢があり治療法は多様化しており、施設により治療方針は変わります。当院では、確実性と根治性の面から動脈瘤の部位に応じて、開頭クリッピング術を中心に行っております。血管内治療が明らかに適した脳動脈瘤に対しては、血管内治療専門医とともに治療を計画してまいります。当院では、成績向上のために術中モニタリング（MEP、SEP）を必ず行い、またバイパス手術や当院脳外科部長の鮫島医師の専門分野である頭蓋底技術を組み合わせた治療も可能です。患者さんと十分な相談を重ね、未破裂脳動脈瘤の自然歴を考慮しながら経過観察を含めて一人ひとりに適した治療方針を相談してまいります。

頸動脈狭窄症と動脈硬化性主幹動脈閉塞症（中大脳動脈閉塞症、内頸動脈閉塞症）に関しては、高血圧や糖尿病患者、高齢者を中心に有病率の非常に高い疾患で、定期的なフォローアップとリスク評価が重要です。

頸動脈狭窄症の治療方針は狭窄度やプラークの性状によって異なります。高度狭窄や不安定プラーク病変は内服治療のみでは脳梗塞の再発リスクが高く、治療が必要になります。脳卒中ガイドラインが示すように、

ゴールドスタンダードは頸動脈内膜剥離術（CEA）であり、CEA危険因子がある方には頸動脈ステント術が必要になります。当院では十分に脳梗塞再発リスクを考慮し、患者さんと十分に治療方針を相談していきます。頸動脈内膜剥離

術は、術中遮断時の内シャントと術中神経モニタリング（MEP、SEP）を用いて、術中の脳虚血合併症に配慮して安全に行ってまいります。

動脈硬化性主幹動脈閉塞症（中大脳動脈閉塞症、内頸動脈閉塞症）は脳梗塞を起こすリスクが通常より高く、適切な脳血流の評価、内服治療に加えて、適切な外科的治療の介入が重要であります。リスク評価にはMRAなどの血管評価だけでなくSPECT（IMP）での脳血流評価が重要です。脳血流低下が著しい場合、内科治療のみでは脳梗塞リスクが非常に高くなり、浅側頭動脈 - 中大脳動脈（STA-MCA）バイパス術が薦められます。可能な限り、低侵襲・短時間の治療を心がけており、当院では検査から治療まで体制を整えております。

もやもや病に関しては、小児、成人で脳卒中をきたす特定難病疾患であり、脳梗塞や脳出血のリスクがあり、こちらも治療は浅側頭動脈 - 中大脳動脈バイパス術（+間接バイパス術）になります。脳血流検査を含むすべての検査、治療のみならず、診療で重要なRNF213遺伝子の評価についても東京女子医科大学総合医科学研究所との連携で評価可能な体制を準備しております。診断、治療、遺伝子カウンセリングを含めたセカンドオピニオンにも対応可能です。また、家族歴がある方のMRI検査などもお勧めします。



脳神経外科
野村 俊介

新任医師紹介

2026年4月1日採用



泌尿器科 部長
佐藤 雄二郎
(サトウ ユウジロウ)



消化器内科 主任医長
近藤 祐嗣
(コンドウ ユウジ)



救急総合診療科 主任医長
田上 俊輔
(タガミ シュンスケ)



外科 医長
原田 庸寛
(ハラダ ノブヒロ)



内科医師
金森 悠介
(カナモリ ユウスケ)



内科医師
七田 落子
(シチダ フキコ)



内科医師
北川 徹
(キタガワ トオル)



内科医師
佐々 亮太郎
(サッサ リョウタロウ)



内科医師
星野 雪楓
(ホシノ セツアキ)



内科医師
永久井 駿
(ナガワイ シュン)



内分泌・代謝内科
清川 裕介
(キヨカワ ユウスケ)



神経内科
矢下 大輝
(ヤシタ ダイキ)



神経内科
太田 祐輔
(オオタ ユウスケ)



神経内科
堤 俊輔
(ツツミ シュンスケ)



神経内科
吉本 宗弘
(ヨシモト ムネヒロ)



腎臓内科
大谷 仁美
(オオタニ ヒトミ)



呼吸器内科
丹生谷 究二郎
(ニバヤ キュウジロウ)



脳神経外科
菊山 薫
(キクヤマ カオル)



脳神経外科
野村 俊介
(ノムラ シュンスケ)



整形外科
菅原 留奈
(スガワラ ルナ)



整形外科
湯浅 晶斗
(ユアサ アキト)



小児科
佐藤 法子
(サトウ ノリコ)



眼科
図所 孝紘
(ズショ タカヒロ)



皮膚科
飯島 一祥
(イイジマ カズヨシ)



皮膚科
久保田 太郎
(クボタ タロウ)



形成外科
山本 衣里奈
(ヤマモト エリナ)



耳鼻咽喉科
三輪 奈都美
(ミワ ナツミ)



放射線科
濱田 晃嘉
(ハマダ アキヨシ)



放射線科
安居 文音
(ヤスイ アヤネ)



麻酔科
篠川 美希
(シノカワ ミキ)



人間ドックセンター
杉浦 真貴子
(スギウラ マキコ)

当院を退職しました

2026年3月31日退職

中原 和樹 (副院長兼呼吸器外科部長)

西崎 由希子 (血液内科)

高橋 奎胡 (消化器内科)

都築 美輝 (皮膚科)

西田 昌道 (院長補佐兼救急総合診療科部長)

吉岡 玲央 (神経内科)

小野 晋治 (消化器内科)

藤崎 綾衣子 (耳鼻咽喉科)

村田 太郎 (泌尿器科部長)

辻田 真比古 (神経内科)

池田 早織 (呼吸器内科)

高石 拓 (放射線科)

成田 耕介 (精神科部長)

小松 大樹 (神経内科)

岩崎 つぐみ (呼吸器内科)

陣内 遥 (放射線科)

濁川 博子 (緩和ケア内科主任医長)

小森 雄太 (神経内科)

小林 聡子 (小児科)

野原 孝哉 (救急総合診療科主任医長)

富満 悠葵 (循環器内科)

上田 浩平 (眼科)

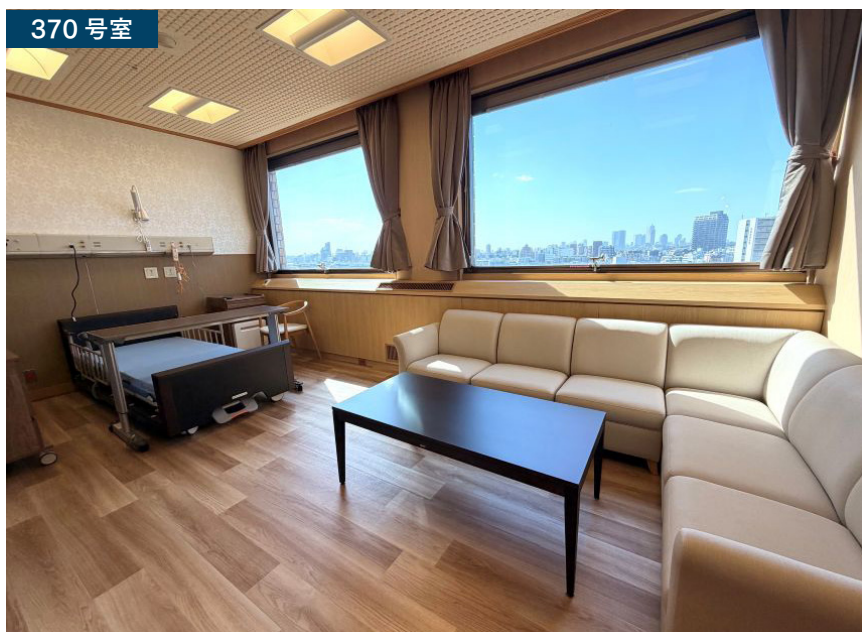
岩井 奈都子 (形成外科医長)

齋藤 聡文 (消化器内科)

江波戸 一平 (皮膚科)

特別室をリニューアルしました

見晴らしの良い窓辺と、ミニキッチンのある安心感
 いつもの暮らしの延長で、心地よく快復へ向かうプライベート空間
 このたび、当院9階に実用性と居心地の良さを設えた
 「特別個室」がリニューアルオープンいたしました。



お部屋の一番の自慢は、窓の外に広がる開放的な景色です。9階ならではの見晴らしの良い眺望は、日々の療養生活に明るい光を取り込み、心ほぐれる癒やしのひとときを届けてくれます。

また、室内にはお茶を淹れたり、ご家族とホッとする時間を過ごしたりできる便利な「ミニキッチン」を完備いたしました。過度な高級感で緊張してしまうような空間ではなく、目指したのは「ご自宅のセカンドルーム」のような安心感。ご

自身のペースを保ちながら、普段どおりの快適な暮らしをそのまま入院生活に持ち込んでいただけます。

プライバシーが厳重に守られた静かな環境のなか、我が家のようにリラックスしながら、万全の医療・看護体制のもとで治療に専念していただけます。

「少し特別で、とても実用的」。そんな心安らぐ空間が、みなさまの前向きな快復を支えます。

個室区分	1日利用料	広さ	設備	
特別室 A (360 号室)	110,000 円 (税込)	約 36㎡	トイレ ユニットバス	ミニキッチン、応接セット、アメニティ用品、テレビ、冷蔵庫、電話（カード式）、保管金庫、ロッカー、インターネット環境
特別室 B (370 号室)	99,000 円 (税込)	約 30㎡		

当院の緩和ケア病棟は、当院で治療中の患者さんだけでなく、他医療機関から紹介された患者さんも対象となります。病状の評価や疼痛の評価を行ったうえで、緩和ケア病棟への入棟が可能です。緩和ケア病棟は、がんに対する積極的な治療を終了、もしくは一時中止している方で、がんによる身体的・精神的な苦痛があり、医師により入院での緩和ケアが必要と判断された方が対象です。患者さんご本人が現在の病気の状況を理解したうえで、緩和ケア病棟への入院を希望されていること、また、自らの意思や希望を伝えられることが望まれます。当病棟では、がんの根治を目指すのではなく、日常生活に近い環境で、患者さんやご家族が自分らしく過ごせるようサポートいたします。病棟は眺めの良い9階に位置し、有料個室6室、有料準個室1室（2床）、一般病室3室（10床）を備えています。また、ご家族が宿泊できる家族控室のほか、キッチンや談話室もご用意しています。毎月、季節を感じられるイベントを開催し、患者さんやご家族が楽しみながら交流できる場を提供しています。「その人らしく穏やかに過ごせる」ことを大切に、お身体だけでなく心のケアにも力を入れ、笑顔のあふれる、充実した生活を送っていただける緩和ケアを目指しています。



人間ドックのおすすめ

人間ドックセンター

1年に1回は健康チェック（電話03-5214-7055）



男性 基本検査

身体測定 呼吸器系 循環器系 腎・尿路系 代謝系	肝・胆道系 消化器系 血液系 炎症・その他	眼科 耳鼻科
--------------------------------------	--------------------------------	-----------

料金 45,100円
追加でオプション検査もございます。



女性 基本検査

身体測定 呼吸器系 循環器系 腎・尿路系 代謝系	肝・胆道系 消化器系 血液系 炎症・その他	眼科 耳鼻科 婦人科(子宮頸がん検診) 外科系(乳房撮影+触診)
--------------------------------------	--------------------------------	---

料金 52,360円
追加でオプション検査もございます。

「午後ドック」開始のお知らせ

遠方にお住まいの方や、午前中は業務や家事等でお時間の確保が難しい方にも受診していただけるよう、午後ドックを新設いたしました。

- ・対象：個人で受診される男性の方
- ・実施日時：毎週木曜日 13:00 開始
- ・予約方法：専用予約サイトからの事前予約

【ご注意】

- ・受診日前日の食事制限はありません。受診当日の朝食は7:00までに、食パン1枚（ジャム・バターなし）またはゼリー飲料1本をお召し上がり下さい。以降は水分のみ摂取可能です。
- ・朝食を摂取した場合は、**随時血糖・随時中性脂肪**、10時間前から絶食した場合は、**空腹血糖・空腹中性脂肪**として測定されます。
- ・午後ドックでは、以下の検査は実施できません。
 (1)胃バリウム検査 (2)骨密度検査 (3)インスリン抵抗性マーカー検査
 (4)脳ドック (5)肺がんドック (6)歯科ドック (7)アミノインデックス



（専用予約サイト）
QRコード



外来の患者さんへ

どの診療科に受診の方も、一度はご確認ください。

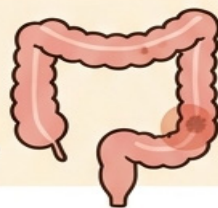


あなたの『**元気**』、大腸も大丈夫ですか。



**大腸がん、早期発見のために
一度検査してみませんか。**

大腸がんは、
自覚症状が出にくいがんです。
気づいた時には進行していることも。



早期に発見できれば、
**9割以上が
完治可能です！**



気になる症状や、大腸検査希望の方は、
かかりつけの主治医にお申し出ください。
当日でも消化器内科に紹介し、検査予約など相談に乗ってもらえます。

40歳を過ぎたら、定期的な検査を。
詳しくは主治医または受付スタッフにお気軽にご相談ください。